

InvestHK

2022-23年度予算案：企業を支援し、経済を活性化

香港特別行政区政府 ポール・チャン財政長官は、2022年2月23日に2022-23年度予算を発表しました。同氏は、香港経済が今年下半期により高いパフォーマンスを発揮し、通年で実質2~3.5%の成長を達成すると予測しました。

新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行（パンデミック）は全世界に影響を与え、経済活動に大きな打撃を与えました。今年の予算案では、財政長官は企業の財政負担を軽減し、市内産業の競争力を強化するためのさまざまな政策が打ち出されました。

パンデミック後の各国・地域における経済間競争は、間違いなく激化します。香港は、外資系企業を誘致するため、対内投資促進への取り組みを強化します。来年度から、政府は恒常的に約9,000万ドルの追加の経常費用を提供し、香港投資推進局（インベスト香港）の業務と中国本土および海外における同局のネットワークを強化する予定です。

これに伴い、ファミリーオフィス、フィンテック、金融サービス、技術革新・科学技術、海事などの主要政策分野における投資推進活動を引き続き強化します。また、政府の公約である「香港気候行動計画 2050」の下、2050年までにカーボンニュートラルを達成し、更に優秀人材の誘致活動を強化します。

経済の支援と活性化のための主な政策は以下の通りです。

企業支援

- 特定業種のテナントによる賃料支払遅延が生じた場合、貸主が賃料未納を理由に契約を解除、サービスの提供を停止、または関連する法的措置をとることを禁止する法案を制定。支払猶予期間は3か月で、3ヶ月の時限立法
- 企業向け100%の特別融資保証の申請期間を2023年6月末まで延長。融資上限を900万ドルに引き上げるとともに、最大融資額を従業員賃金総額とオフィス賃料総額の合算の27カ月分相当に増額。返済期間を最長10年に延長。一部元金返済の返済期間延長も可能
- 2021/22年度課税年度の法人税を1万ドルを上限に100%減額
- 2022/23年度につき、最初の2四半期は1四半期あたり5,000ドル、残りの2四半期は1四半期あたり2,000ドルを上限に非住宅固定資産税を減額

投資促進・貿易

- ハイレベルな「Global Financial Leaders' Investment Summit」を香港で開催
- 香港貿易発展局に1億3,500万ドルを割り当て、中国本土にいる香港人や香港の起業家が中国本土で円滑に商機を獲得できるよう、「中国本土発展支援計画」を導入

市民の困難を和らげる

- 18歳以上の香港永住者および新規移住者を対象に1人当たり1万ドルの電子商品券を発行
- 2022/23年度課税年度から、年度当たり10万ドルを上限に住宅家賃を税額控除
- 個人向け全額保証融資の申請期間を2023年4月末まで延長。最大融資額を申請者在職時の平均月収の9倍へ増額し、融資上限を10万ドルへ引き上げ。返済期間を最長10年に、元本返済猶予期間を最長18ヶ月に延長

技術革新・科学技術

- 50億ドル規模の「戦略的科学技術基金」を設立し、香港の戦略的価値となる技術系企業や技術プロジェクトへ投資
- 100億ドルを割り当て、生命・健康科学技術の開発を促進
- 香港に16カ所ある国家重点研究室および6カ所の国家工程技術研究センター香港支部による研究開発活動への助成金を4億4,000万ドルに倍増
- 「大学発技術系スタートアップ支援計画」の助成金を1,600万ドルに倍増

金融サービス

- 50億ドル規模の「大湾区(GBA)投資基金」を設立し、広東・香港・マカオ大湾区(GBA)での投資機会に注力
- 来年度に150億ドル以上の個人向けインフレ連動債(iBond)、350億ドル以上のシルバー債、100億ドル以上の個人向けグリーンボンドの発行を計画
- シングル・ファミリーオフィスが経営するファミリー投資管理会社へ税制優遇措置を提案
- 1,000万ドルを割り当て、「フィンテック概念実証助成計画」の新規ラウンドを立ち上げ

文化・芸術

- 4,200万ドルを割り当て、舞台芸術業界向けの「香港演藝博覧会」を開催
- 4,000万ドルを割り当て、アートテックの活用と開発を促進



観光事業

- 観光産業の支援と発展のために 12.6 億ドルを割り当て

航空と海運

- 「スマートポート」開発の推進について具体的な提案を検討し、さらに多くの海運企業を誘致するための税率半減優遇措置を提案

(*通貨単位：香港ドル)

詳しくはこちらから：budget.gov.hk



国際イベント・スケジュール

4月26日

Sourcing Journal Annual Global Outlook Conference

アパレルサプライチェーンの代表的なイベントです。業界のエグゼクティブやブランド、小売店、工場等のマネージャー、ディレクターが一堂に会します。

場所： オンライン

主催： *Sourcing Journal*

▪ fairchildfashion.swoogo.com/sjglobaloutlookconference

5月26～29日 香港

Art Central

アジアで最も革新的なギャラリーから、世界中の著名なアーティストとともに、次世代の才能を持つアーティストを紹介します。

開催場所： *Hong Kong Convention and Exhibition Centre*

主催： *Art Central*

▪ artcentralthongkong.com

5月27日～29日 香港

Art Basel 香港

世界最高峰の近現代美術を一堂に集め、アジアをはじめ世界の多様なアートシーンが一望できるイベントです。

開催場所： *Hong Kong Convention and Exhibition Centre*

主催： *MCH Group Asia Ltd.*

▪ artbasel.com/hong-kong

最新イベント情報は、investhk.gov.hk をご覧ください。



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

特集：

広東・香港・マカオ大湾区発展計画綱要の発表から3周年

2022年2月で「広東・香港・マカオ大湾区発展計画綱要」の発表から3周年を迎えます。

大湾区発展計画綱要

大湾区計画は、広東省、香港、澳門の各地域の強みを最大限に発揮しながら、地域間の協力関係と繋がりを更に深め、一体となった経済発展を推進します。大湾区を世界一級のベイエリアとして、人々が生活し、働き、旅をするのに最適な場所にすべく発展、繁栄を目指します。香港特別行政区政府は、大湾区の発展に関連する取り組みを非常に重視しており、広東・香港・マカオ大湾区発展計画綱要に従って、大湾区の中国本土9都市で生活し、働き、事業を立ち上げることを希望する香港の居住者と専門職を支援します。また、香港が優位性を持つ分野における香港企業と産業が大湾区の発展に伴う商機を十分に捉えることが出来るよう支援するため、当初から様々な分野で多彩な政策を導入してきました。これらの政策は、「対内直接投資促進」と「グローバル化」における香港の役割を生かし、大湾区の中国本土都市が国際市場に進出する際にも役立っています。

大湾区関連政策

「粵港澳大湾区建設領導小組」（広東・香港・マカオグレーターベイエリア建設指導チーム）が2019年中の2度の会議後に発表した24項目の施策の大半は、現在までに実施済みです。これには、税制上の優遇措置、不動産購入プロセスの簡素化、若手起業家支援、科学技術補助金の越境送金、法務・保険・建設関連の専門サービスの自由化、大湾区内の指定された香港資本医療機関における香港薬事登録済み医薬品と医療機器の使用、理財通（越境ウェルスマネジメントコネクト）などが含まれています。これらの施策のすべてが、香港居民と専門家による大湾区での商機の有効な活用と、大湾区の中国本土都市の発展へとつながります。

香港・広東省協力合同会議 第22回全体会議

一方、香港特別行政区政府は、様々な分野で政策の革新と突破口を模索し、「一国二制度」の優位性の下、香港と大湾区の他の都市との間の結び付きを強化することを視野に入れて、中央政府の省庁や委員会、広東省政府およびマカオ特別行政区政府とも緊密に連絡を取り合ってきました。2021年5月14日、香港特別行政区 行政長官（以下、行政長官）は、香港特別行政区政府代表団を率いて、当時の広東省省長を団長とする広東省代表団との「香港・広東省協力合同会議」の第22回全体会議を、オンラインにて主催しました。この会合では、以下、様々な協力分野に関して協議が行われました。大湾区の発展、香港企業の本土国内市場への進出の支援、金融、法務と紛争解決のサービス、イノベーションと科学技術、大湾区の平和と安全、医薬と医療、青少年の育成、教育、越境インフラ、馬産業および投資促進等。双方は会合後、経済・貿易、投資促進およびスポーツプロジェクトを対象とする3件の協力



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

協定のほか、馬産業における協力に関する2件の協定に調印しました。

前海における深圳・香港現代サービス業合作区の改革開放を全面的に深化する方案

さらに、中央当局は2021年9月6日、「前海における深圳・香港現代サービス業合作区の改革開放を全面的に深化する方案」（前海方案）を公布しました。この方案は、広東、香港およびマカオ間の協力レベルを向上させるための重要な戦略計画です。同方案は、香港・広東および香港・深圳の協力関係をさらに促進するための起点として現代サービス業を活用するものであり、中国の総合的發展に香港がより貢献することを目指しています。

行政長官と中国共産党深圳市委員会書記は、イノベーションと科学技術、金融サービス、専門サービス、前海の開発、教育協力、医療協力、青少年の育成、投資促進、環境保護、文化、年金サービスを含む様々な協力分野について協議しました。双方は、様々な分野におけるハイレベルな協力を引き続き推進し、相互補完と互恵の精神をもって大湾区地域の發展と国家全体の發展に共同で貢献することで合意しました。これに先立って、香港特別行政区と深圳の両政府は、すべての分野で香港・深圳の協力を前進させるために、19の部会を設置することに合意しました。

大湾区發展計画綱要に明記されているように、前海は大湾区における主な協力プラットフォームの1つです。前海方案では、前海深港・香港現代サービス業合作区の面積は、14.92平方キロメートルから120.56平方キロメートルへと大幅に拡大される予定です。前海方案は、前海におけるハイレベルな開放の促進、現代サービス業の革新的な發展の醸成、および、香港の基準と国際的基準に対応した現代サービスのシステムの構築の加速にも焦点を合わせています。香港は、その優位性を存分に生かして、前海におけるサービス貿易の完全な自由化、金融市場の相互アクセスの拡大、および、より高いレベルでの法務分野の開放を促進することにより、香港の様々な産業と企業の専門職のためのビジネス拡大余地を作ります。

環大湾区対内投資連絡チーム

これとは別に、香港企業による中国本土の国内市場への進出を支援するために、香港貿易發展局は「GoGBA One-stop Platform」を立ち上げ、2021年6月に深圳に香港貿易發展局大湾区センターを設立しました。香港投資推進局（インベスト香港）も、広東省との大湾区における投資促進協力の深化に関する覚書に調印し、広東省と共に「環大湾区対内投資連絡チーム」を設立しました。



連絡先：

デイビッド・ウォン (David Wong)

大湾区ビジネス開発部 部長

☎ (852) 3107 1494

✉ davidwong@investhk.gov.hk

大湾区に関する最新情報を受領するには、インベスト香港の「大湾区ニュースレター」をご購読ください。



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局



人気アニメキャラクター クターを中華圏に

香港新設合併事業会社 Rights & Brands Asia 社が、フィンランド発のキャラクター「ムーミン」を新市場に展開

フィンランドの芸術家トーベ・ヤンソン氏が1940年代に「ムーミン」を初めて生み出したとき、このキャラクターが世界中で人気を博すようになることを誰も想像しませんでした。ヘルシンキに拠点を置く Moomin Characters 社と、ストックホルムに拠点を置く Rights & Brands 社は、香港の PPW 社と中華圏でのライセンス契約を締結していますが、さらに同地域におけるプレゼンスを強化し、ビジネスチャンスを拡大するため、3社は日本の大手商社である伊藤忠商事株式会社をこのパートナーシップに招き入れました。このようにして、Rights & Brands Asia は、この4社の大望を実現するために2021年に設立されました。

アジアにおけるパートナーシップ構築のための戦略拠点

「この合併事業は、すべての当事者にとって有益なものです」と Rights & Brands Asia (RBA) の CEO Bianca Lee 氏は述べました。「当社の香港事務所は中華圏事業の統括本部です。ここから、中国本土、香港、台湾における知的財産 (IP) のライセンス事業を管理し、香港と海外のすべてのステークホルダーとの調整やコミュニケーションを行います」

香港は、インフラ及び地理的優位性ゆえに、RBA が知的財産 (IP) ライセンス業務の地域管理を行うのに適しています。「香港には、法的また経済的に安定した社会構造があり、法律、金融、ライセンス業務の専門家が豊富にいます」と Lee 氏は力説しました。「香港は、中国本土やアジアのほとんどの市場に近く、中国語と英語の両方が広く使われているため、ライセンス業界にとって理想的な戦略拠点となっています」

ギャップにあるチャンス

RBA は、中華圏におけるムーミンの人気を生かし、ホーム&ファッションといった重要カテゴリでの需給のギャップを埋め、ビジネスの成長をさせていく予定です。

“香港は、豊富な法律、金融、ライセンス業務の専門家に恵まれ、中国本土やアジアのほとんどの市場に近く、中国語と英語の両方が広く使われているため、ライセンス業界にとって理想的な戦略拠点となっています”

**Rights & Brands Asia
CEO
Bianca Lee 氏**

また、プロモーションパートナーとの連携を強化し、小売およびロケーションベースのエンターテインメント分野における新しい商機を開拓していきます。アニメ番組のコンテンツ配信をさらに拡充し、ソーシャルメディアや現地でのマーケティング活動によって、ファンとの交流を続けていくことを計画しています。「私たちの目的は RBA の事業を成長させることです。しかし、より大切なのは、各パートナーの事業もこの提携によって発展させることです。近い将来、日本と欧州の新しいブランドを中華圏の消費者に紹介できることを願っています」と Lee 氏は述べました。

RBA の成長に貢献すべく、Lee 氏は香港の豊富な人材からの雇用を検討しています。「香港人の高い効率性、一貫した質の高い仕事、誠実さ、そして多言語・方言を操る能力を高く評価しています」と Lee 氏は語りました。「また、香港は、アジアでも先進的な市場であり、男女平等を受け入れています。これは、組織の全体としての健全性にとって、非常に重要だと個人的に考えています」

Lee 氏は、広東・香港・マカオ大湾区 (グレーターベイエリア) の巨大な消費者基盤が魅力的であることを理解しています。「グレーターベイエリアでのネットワークを構築しているライセンサーには、グレーターベイエリアでのライセンス供与を喜んで検討します」と語りました。「当社自身も、中国本土への事業拡大について、グレーターベイエリアも選択肢の一つとして検討しています」

ブランドマネジメントとライセンス業界のベテランとして、Lee 氏はブランドオーナーにいくつかのヒントを提供しています。「消費者製品のライセンス業務の役割は、無名のブランドを有名にすることではありません。IP は、製品のライセンス戦略を活用して事業を拡大する前に、まずブランド認知度と親和性を高めるための明確なマーケティング計画を持っていないければなりません」

Rights & Brands Asia

- Rights & Brands Asia は、香港に本社を置き、中華圏市場におけるフィンランド発のアニメキャラクター「ムーミン」をはじめとするブランドを扱うライセンスエージェントです
- 香港の PPW Sports & Entertainment、伊藤忠商事株式会社、フィンランドの Moomin Characters Oy、スウェーデンの R&B Licensing AB による合併会社で、2021年9月に設立されました

rightsandbrands.com/asia